

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患  
2006年50週

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「性器ヘルペス」

東京都医師会感染症予防検討委員会  
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)  
FAX:03-5332-7365  
e-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp  
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2006年50週》

### (全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソネ菌1件、フレキシネル菌1件	インドネシア1件、 フィリピン1件
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	2	O157 VT1・VT2 1件 O157 VT2 1件 推定感染経路:経口感染1件、不明1件	国内
四類	A型肝炎	1	血清から特異IgM抗体検出 推定感染経路:不明	国内
	レジオネラ症	1	肺炎型 推定感染経路:不明	国内
五類	アメーバ赤痢	3	腸管アメーバ症 推定感染経路:不明	国内
	クロイツフェルト ・ヤコブ病	2	古典型CJD(疑い)、家族性CJD(ほぼ確実) 推定感染経路:不明	国内
	後天性免疫 不全症候群	9	無症候性キャリア 5件、AIDS 4件 推定感染経路:性的接触(同性間6件 異性間1件)、不明2件	国内
	梅毒	3	早期顕症梅毒Ⅱ期 推定感染経路:性的接触(同性間1件 異性間2件)	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

### (定点把握対象疾患 -小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点-)

- ・ 感染性胃腸炎の報告数は前週に比べやや減少した。
- ・ R S ウイルス感染症の報告数が急増している。

### (検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
感染性胃腸炎	2	糞便	ノロウイルス	遺伝子
急性胃腸炎	12	糞便	ノロウイルス	
腸管感染症	61	糞便	ノロウイルス	
急性扁桃炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
咽頭炎	9M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性咽頭炎、気管支炎	5	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
急性気管支炎、咽頭炎	6	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
急性細気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
肺炎	7	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
流行性角結膜炎	27	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
耳下腺炎	15	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
ムンプス、嘔吐症	2	糞便	ムンプスウイルス	
不明発しん症	6M	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
熱性けいれん	3	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型	
難治性下痢	40	糞便	ロタウイルス	抗原
けいれん重積、脳症	1	糞便	ポリオウイルス3型	分離*
突発性発しん、マイコプラズマ	1	咽頭拭い液	アデノウイルス1型	

\* 遺伝子検査で既に報告済みの検体を含む

### ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス			サポウイルス	ロタウイルス
			G I	G II	G I + G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	655	369	7	362	0	0	0

## 定点医療機関からのコメント

池袋保健所管内医療機関

- ・インフルエンザ(男・3歳、男・6歳)

多摩小平保健所管内医療機関

- ・マイコプラズマ肺炎患者が2名発生した。

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2006年50週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ					8		46
	細菌性赤痢		2	1	2	64	8	469
	ジフテリア							
	腸チフス					17		70
	パラチフス					11		24
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3		1	2	263	49	3824
四類	E型肝炎					4	3	68
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	1	28	1	310
	エキノкокクス症					1		20
	黄熱							
	オウム病					4		22
	回帰熱							
	Q熱							2
	狂犬病							2
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病						14	354
	デング熱					16	1	54
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							44
	日本脳炎							7
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症					1		5
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							2
	マラリア		1			15	2	60
	野兎症							
ライム病					2		12	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1		1	1	57	4	488	
レプトスピラ症					4	1	24	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	3	3	177	12	710
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	1			34	1	268
	急性脳炎					6		157
	クリプトスポリジウム症					5		14
	クロイツフェルト・ヤコブ病				2	21	1	166
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					13	1	104
	後天性免疫不全症候群	8	9	13	9	444	13	1257
	ジアルジア症	1			1	28		82
	髄膜炎 菌性髄膜炎					1		14
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	1	3	127	7	598
	破傷風					7	1	113
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				18		74

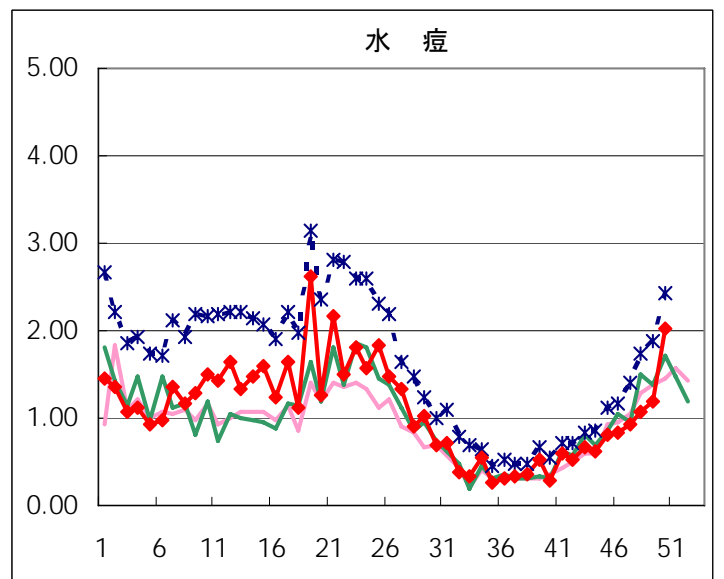
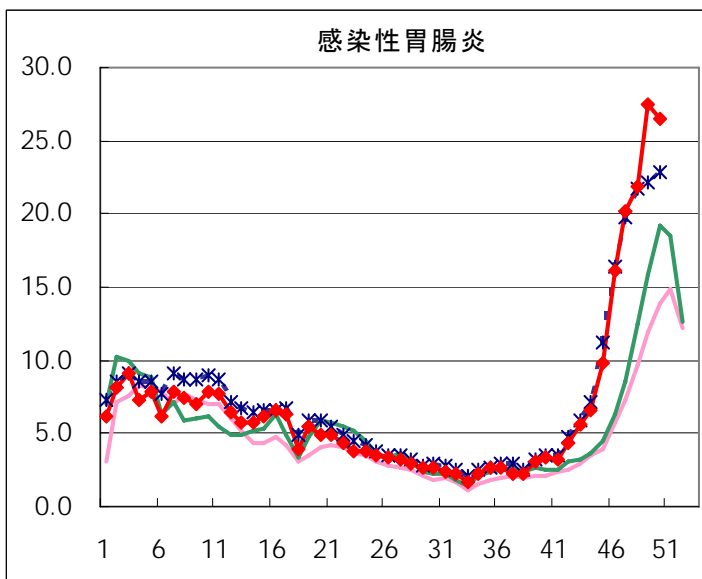
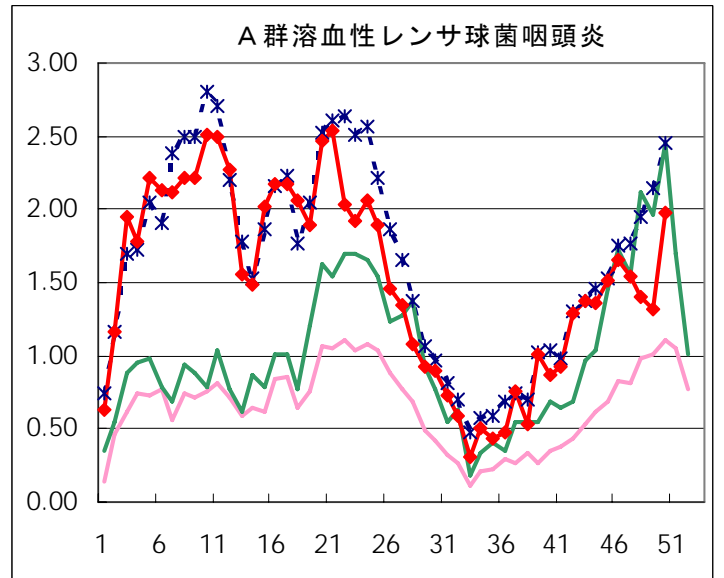
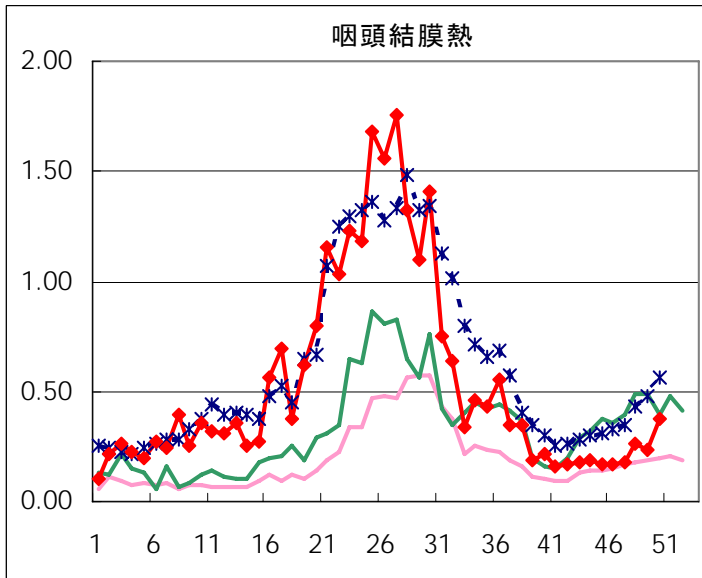
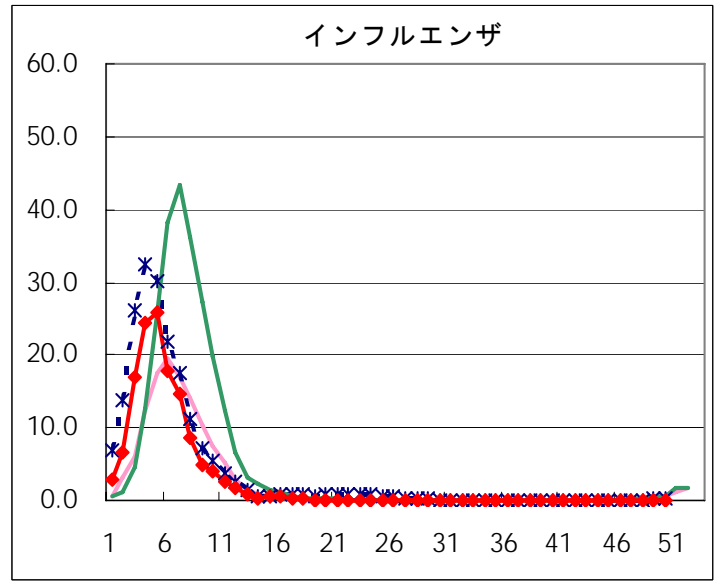
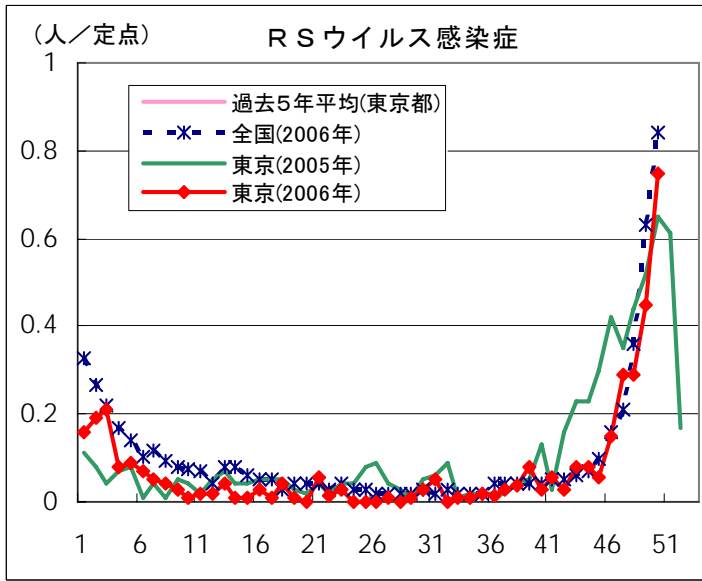
2006/12/20集計

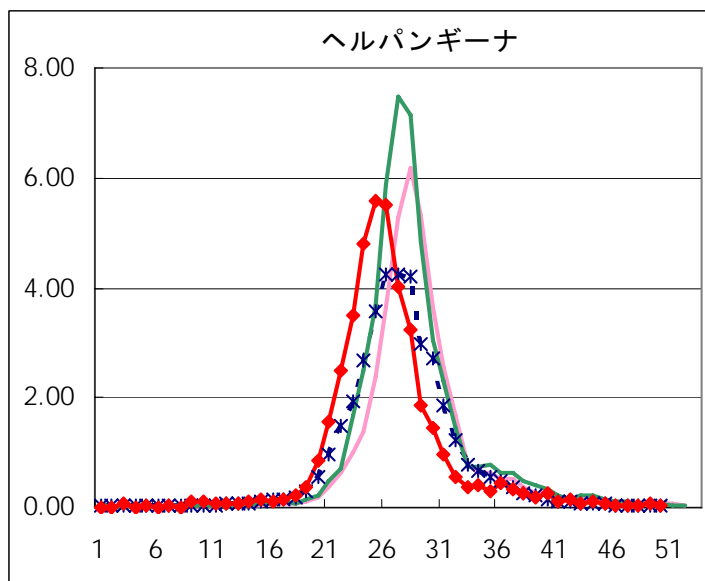
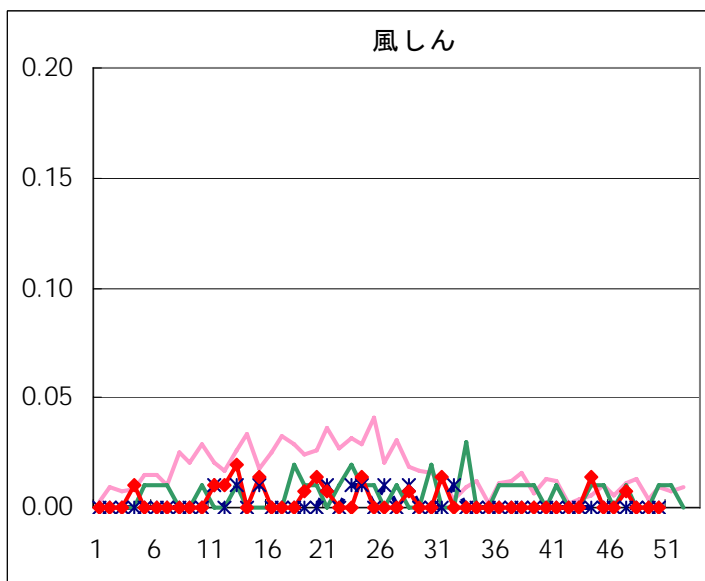
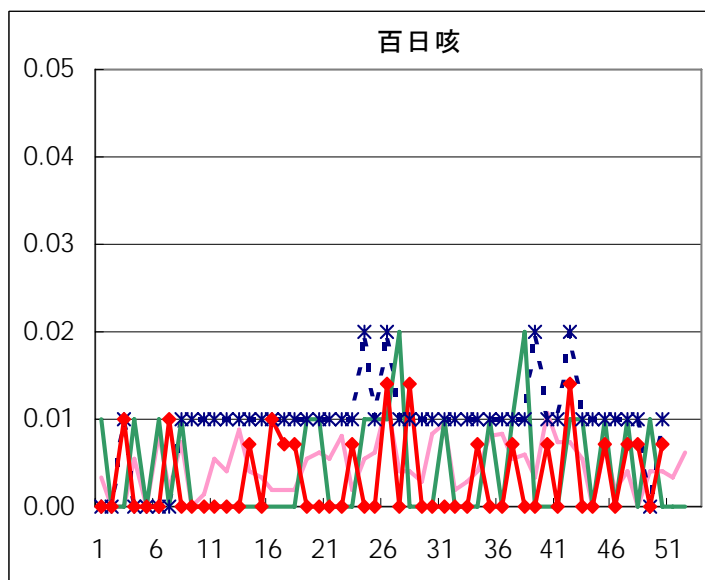
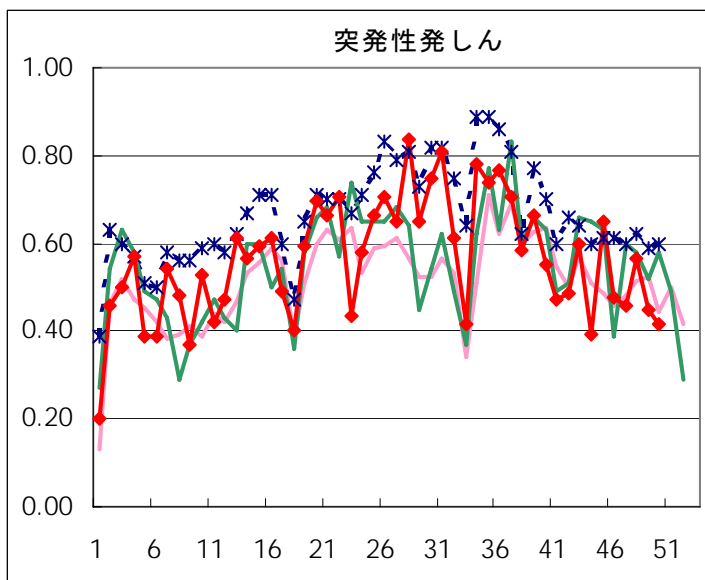
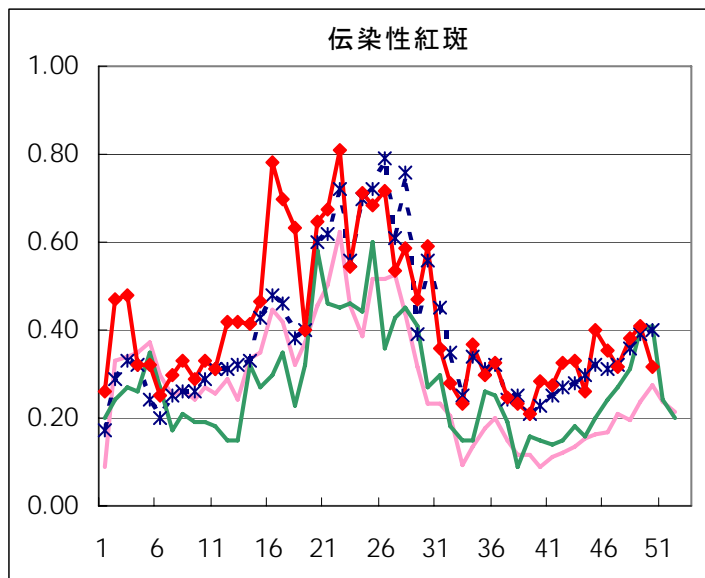
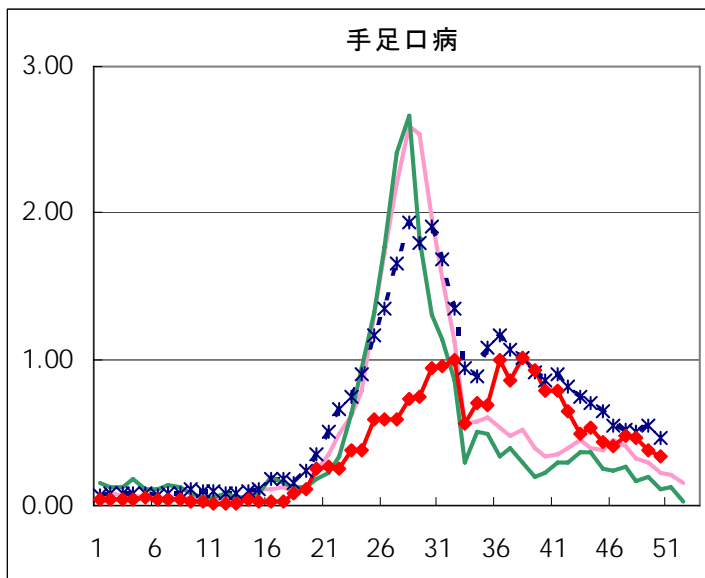
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年50週

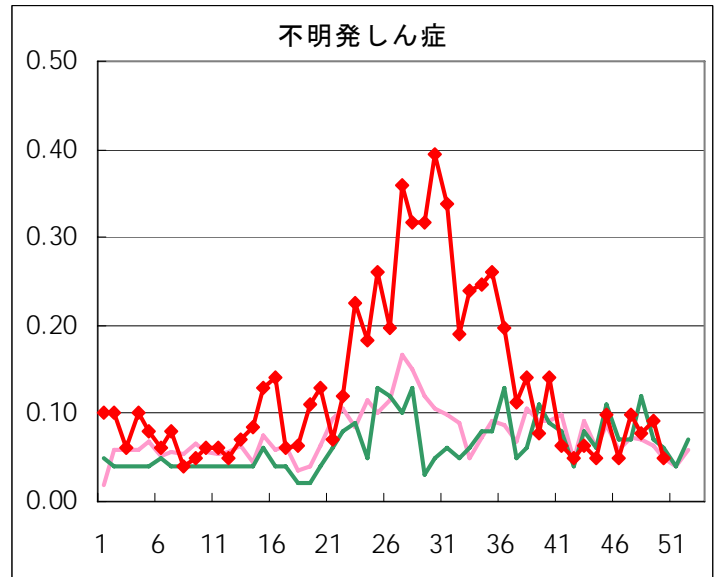
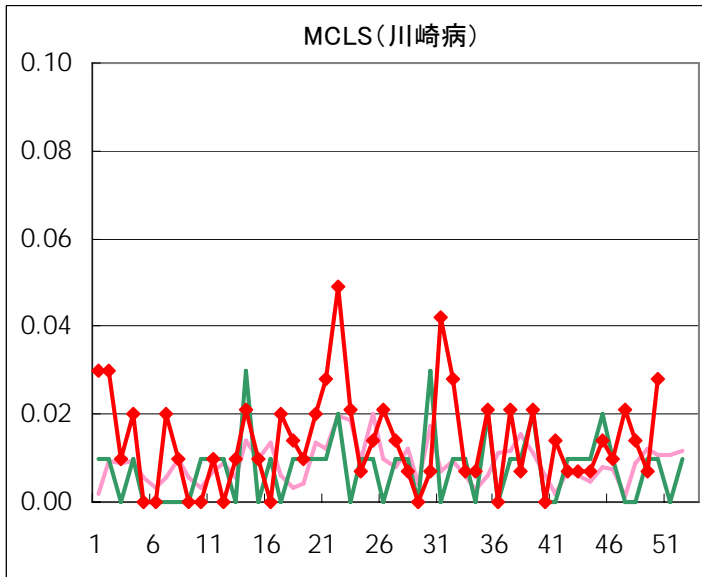
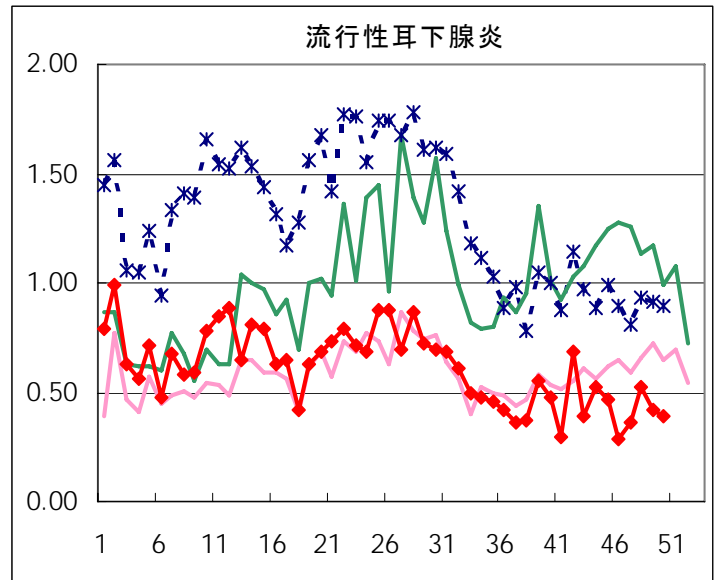
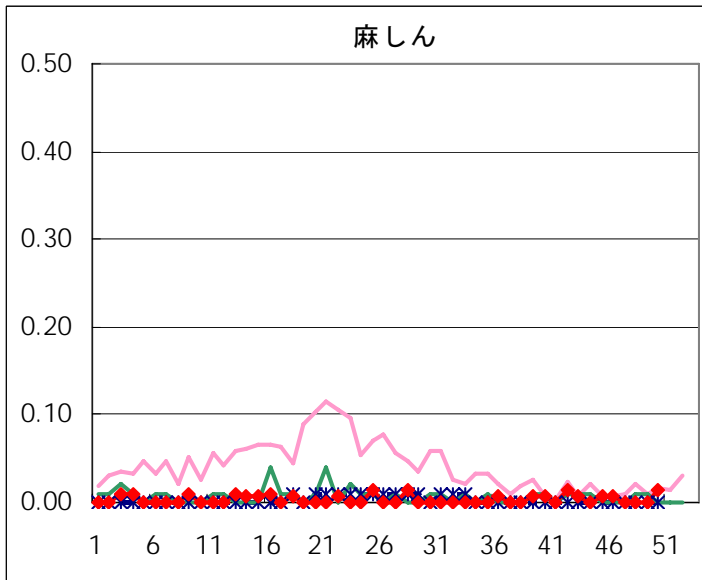
疾病名	性	2006年				4週合計	年累計
		47	48	49	50		
RSウイルス感染症	男	23	27	36	64	150	317
	女	18	14	28	43	103	221
インフルエンザ	男	1		1	2	4	12,062
	女	2	1	2		5	11,878
咽頭結膜熱	男	20	21	14	32	87	2,070
	女	6	16	20	22	64	1,752
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	109	119	97	138	463	5,778
	女	110	81	90	142	423	5,053
感染性胃腸炎	男	1,464	1,562	1,952	1,856	6,834	24,597
	女	1,410	1,546	1,944	1,913	6,813	23,108
水痘	男	62	69	86	147	364	4,095
	女	69	84	84	141	378	3,750
手足口病	男	40	39	33	23	135	1,567
	女	28	26	21	24	99	1,255
伝染性紅斑	男	21	24	28	20	93	1,475
	女	24	30	30	25	109	1,518
突発性発しん	男	37	45	34	34	150	2,103
	女	28	35	30	25	118	1,895
百日咳	男		1			1	12
	女	1			1	2	9
風しん	男	1				1	10
	女						11
ヘルパンギーナ	男	4	1	6	3	14	3,053
	女	1	5	2	2	10	2,834
麻しん(成人麻しんを除く)	男				2	2	19
	女						5
流行性耳下腺炎	男	24	37	33	32	126	2,297
	女	28	37	26	24	115	2,082
不明発しん症	男	7	7	6	2	22	489
	女	7	4	7	5	23	461
MCLS	男	1	2	1	3	7	53
	女	2			1	3	46
急性出血性結膜炎	男						6
	女						2
流行性角結膜炎	男	4	8	9	2	23	271
	女	5	7	4	5	21	233
細菌性髄膜炎	男						9
	女				1	1	5
無菌性髄膜炎	男		2	1		3	29
	女	1	1			2	10
マイコプラズマ肺炎	男	3	2	3	3	11	111
	女		4		1	5	93
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男		1			1	6
	女			1		1	6
成人麻しん	男	1	1			2	2
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年50週現在

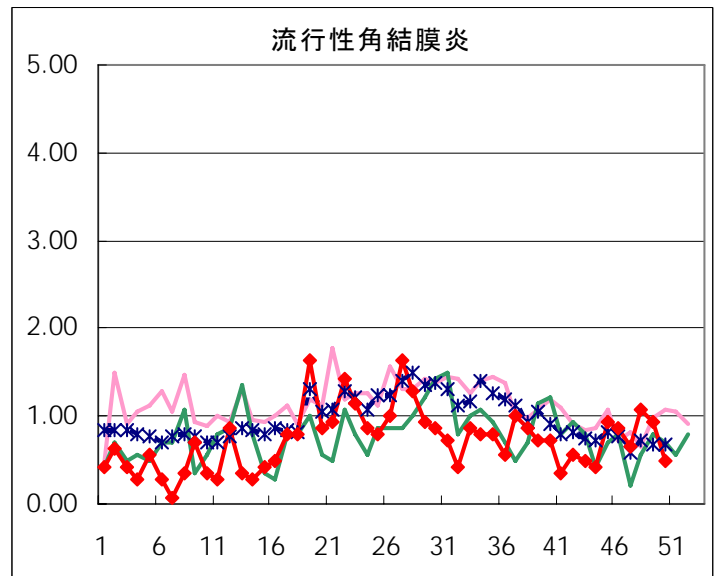
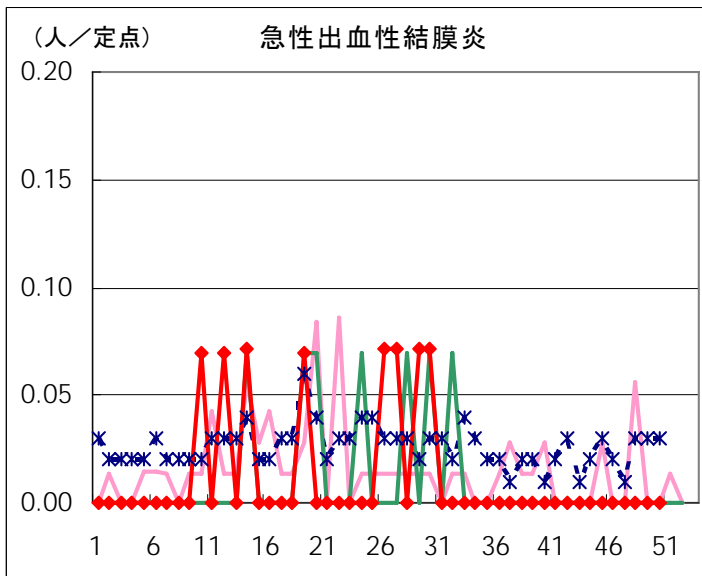
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





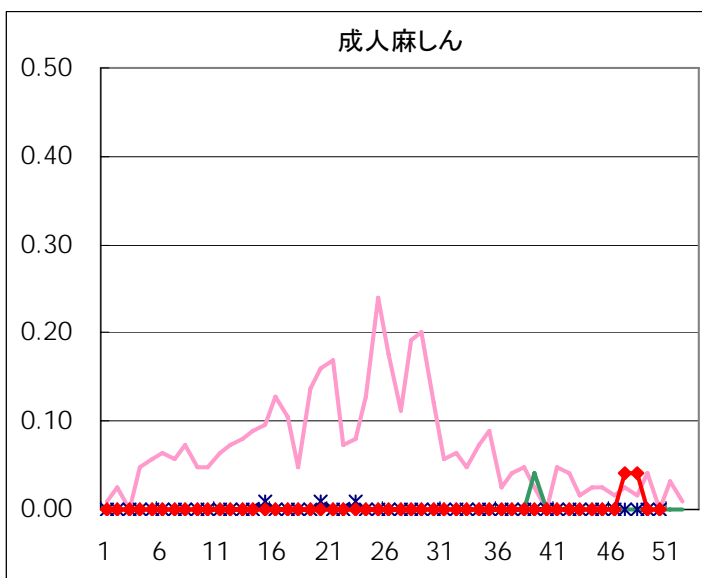
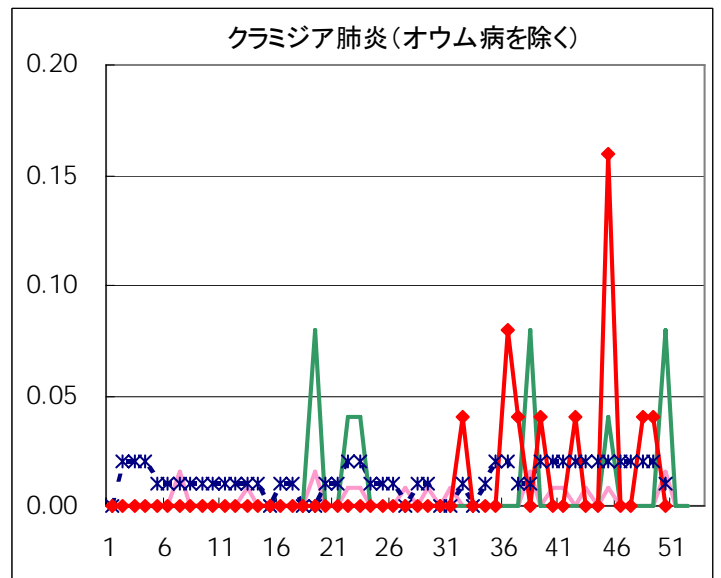
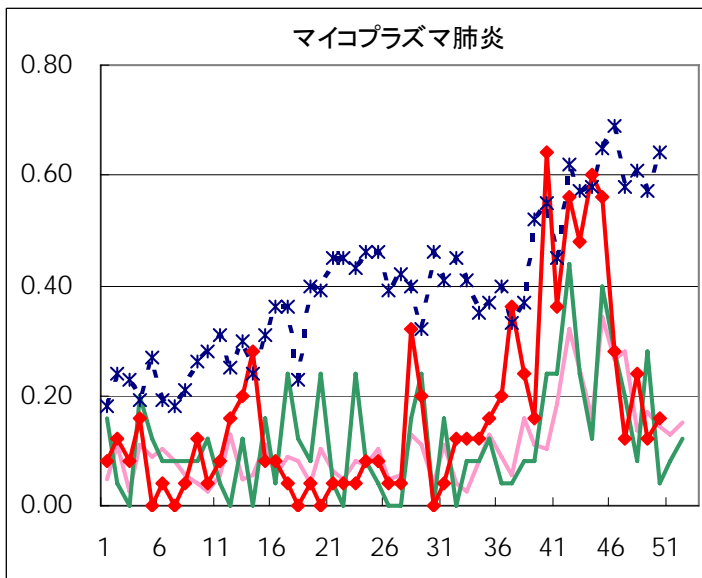
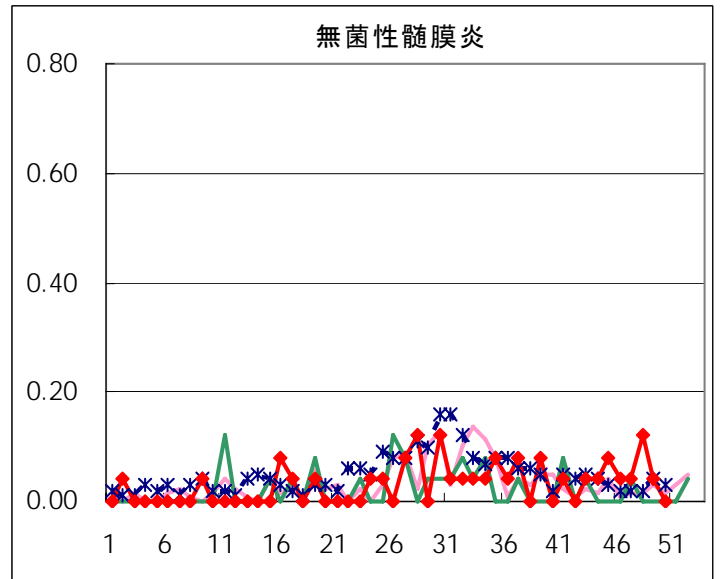
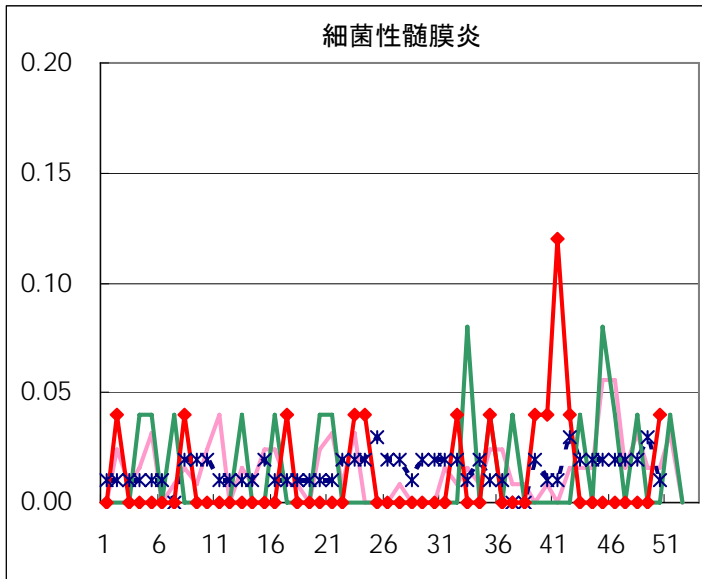


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	6		1	3	43					
中央区				7	40	3	1		2	
みなと	2		2	25	61	4	1		1	
新宿区	11			5	254	3	4		1	
文京			4		61	2		1	2	
台東	13		5	2	75	16			1	
墨田区	4		2	6	90	1			1	
江東区			3	6	107	15				
品川区	1		5	9	163	7		3	1	
目黒区				1	42	1		1	2	
大田区	12		3	23	333	29	3	1	8	
世田谷	3			18	256	28	12	5	6	
渋谷区				3	117	4			3	
中野区	8			7	193	23	5	1	1	
杉並	2		6	11	251	12	4	5	2	
池袋		2			52	5				
北区	2			6	143	20	1		5	
荒川区				2	73	4	1	1		
板橋区			2	23	85	5	4		2	
練馬区	3			12	116	7	1		1	
足立				1	61	2	4			
葛飾区				8	114	23	1	4	3	
江戸川	2		1	43	142	8		7	2	
西多摩			5	5	120	7	1	2	1	
八王子	2		5	12	61	1		1	3	1
南多摩	2			6	65	12		2	1	
町田	2			8	88	20			4	
多摩立川					115	2	1	3		
多摩府中			2	13	207	12	1	1	1	
多摩小平	32		7	12	241	12	2	7	5	
島しょ			1	3						

東京都合計	107	2	54	280	3,769	288	47	45	59	1
定点当り報告数	0.75	0.01	0.38	1.97	26.54	2.03	0.33	0.32	0.42	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年50週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									53
中央区				4					57
みなと				2		3			101
新宿区						1			279
文京				2		1		1	74
台東									112
墨田区									104
江東区							1		132
品川区				2					191
目黒区				1					48
大田区				2					414
世田谷				6			1	1	336
渋谷区				1					128
中野区			1	1					240
杉並				1					294
池袋									59
北区				2				1	180
荒川区						1			82
板橋区									121
練馬区		1		1					142
足立				1			1		70
葛飾区		1		2			3		159
江戸川								1	206
西多摩									141
八王子				1					87
南多摩		1	1	6					96
町田		1		4			1		128
多摩立川				2					123
多摩府中				9					246
多摩小平		1		6		1			326
島しょ									4

東京都合計	-	5	2	56	-	7	7	4	4,733
定点当り報告数	-	0.04	0.01	0.39	-	0.50	0.05	0.03	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	1.50		0.25	0.75	10.75					
中央区				2.33	13.33	1.00	0.33		0.67	
みなと	0.33		0.33	4.17	10.17	0.67	0.17		0.17	
新宿区	1.83			0.83	42.33	0.50	0.67		0.17	
文京			1.33		20.33	0.67		0.33	0.67	
台東	4.33		1.67	0.67	25.00	5.33			0.33	
墨田区	1.33		0.67	2.00	30.00	0.33			0.33	
江東区			1.00	2.00	35.67	5.00				
品川区	0.17		0.83	1.50	27.17	1.17		0.50	0.17	
目黒区				0.33	14.00	0.33		0.33	0.67	
大田区	1.33		0.33	2.56	37.00	3.22	0.33	0.11	0.89	
世田谷	0.38			2.25	32.00	3.50	1.50	0.63	0.75	
渋谷区				0.75	29.25	1.00			0.75	
中野区	1.33			1.17	32.17	3.83	0.83	0.17	0.17	
杉並	0.33		1.00	1.83	41.83	2.00	0.67	0.83	0.33	
池袋		0.33			10.40	1.00				
北区	0.50			1.50	35.75	5.00	0.25		1.25	
荒川区				1.00	36.50	2.00	0.50	0.50		
板橋区			0.33	3.83	14.17	0.83	0.67		0.33	
練馬区	0.60			2.40	23.20	1.40	0.20		0.20	
足立				0.25	15.25	0.50	1.00			
葛飾区				2.00	28.50	5.75	0.25	1.00	0.75	
江戸川	0.50		0.25	10.75	35.50	2.00		1.75	0.50	
西多摩			1.00	1.00	24.00	1.40	0.20	0.40	0.20	
八王子	1.00		2.50	6.00	30.50	0.50		0.50	1.50	0.50
南多摩	0.67			2.00	21.67	4.00		0.67	0.33	
町田	1.00			4.00	44.00	10.00			2.00	
多摩立川					19.17	0.33	0.17	0.50		
多摩府中			0.20	1.30	20.70	1.20	0.10	0.10	0.10	
多摩小平	5.33		1.17	2.00	40.17	2.00	0.33	1.17	0.83	
島しょ			1.00	3.00						

東京都合計	107	2	54	280	3,769	288	47	45	59	1
定点当り報告数	0.75	0.01	0.38	1.97	26.54	2.03	0.33	0.32	0.42	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年50週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区				1.33				
みなと				0.33		3.00		
新宿区						0.50		
文京				0.67		1.00		0.33
台東								
墨田区								
江東区							0.33	
品川区				0.33				
目黒区				0.33				
大田区				0.22				
世田谷				0.75			0.13	0.13
渋谷区				0.25				
中野区			0.17	0.17				
杉並				0.17				
池袋								
北区				0.50				0.25
荒川区						1.00		
板橋区								
練馬区		0.20		0.20				
足立				0.25			0.25	
葛飾区		0.25		0.50			0.75	
江戸川								0.25
西多摩								
八王子				0.50				
南多摩		0.33	0.33	2.00				
町田		0.50		2.00			0.50	
多摩立川				0.33				
多摩府中				0.90				
多摩小平		0.17		1.00		1.00		
島しょ								

東京都合計	-	5	2	56	-	7	7	4
定点当り報告数	-	0.04	0.01	0.39	-	0.50	0.05	0.03

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	14				27	4	1		4
～11か月	17		3	1	155	12	2		24
1歳	43		5	8	345	57	5	2	28
2歳	16		2	9	274	42	8	1	2
3歳	7	1	8	19	232	44	6	6	
4歳	8		12	25	254	45	12	3	
5歳			8	34	278	38	6	5	1
6歳		1	4	43	234	19	2	7	
7歳			2	25	193	7	4	8	
8歳			2	33	193	7	1	6	
9歳			3	20	133	4		3	
10～14歳			3	19	338	3		2	
15～19歳				2	145				
20～29歳	2		2	42	968	6		2	
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	107	2	54	280	3,769	288	47	45	59
先週比	43	-1	20	93	-127	118	-7	-13	-5

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月									
～11か月				2				4	2
1歳			3		2			2	
2歳					4		1		
3歳					4				1
4歳			1		9				1
5歳					7				
6歳					10				
7歳					6				
8歳					3			1	
9歳					6				
10～14歳	1				3				
15～19歳									
20～29歳			1		2		3		
30～39歳							2		
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	1	-	5	2	56	-	7	7	4
先週比	1	0	-3	2	-3	0	-6	-6	3

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2006年43～50週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2006年								
		43	44	45	46	47	48	49	50	
ウイルス	アデノ	4	4	3	6	8	4	5	6	40
	ライノ	4	1		2	5		2	1	15
	ポリオ		1	1			1		1	4
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群				1	1				2
	エコー	2	3	1	1		1	1		9
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	6	10	6	8	1	3	7		41
	単純ヘルペス							2		2
	水痘・帯状疱疹			1						1
	ヘルペス6/7	1	1	1	3	2	2	1	1	12
	EB			1	1	1		2		5
	サイトメガロ							1		1
	ムンプス								2	2
	麻疹					1	2			3
	風疹									
	パルボB19			1			1	1		3
	RS		3	2	1	1	1	5	1	14
	ノロ	15	43	84	103	197	226	241	372	1281
	ロタ		1				4	2	1	8
インフルエンザAソ連型										
インフルエンザA香港型										
インフルエンザB型										
デング										
その他のウイルス			1	1	1				3	
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ		1							1
	腸管出血性大腸菌	7	7	1	5	3		4		27
	その他の腸管系病原菌	3	2					2		7
	溶血性レンサ球菌									
	MRSA									
	MSSA									
	その他の細菌					1				1
その他の病原体		3		5	1	2	4	3	3	21

臨床診断名別検出結果 2006年43週～50週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	4	47	55	2780	27	1	1	7		2	6	19	4	1	2		119	
アデノ		11	2	3		1		5			1	5		1			11	40
ライノ		2	4	3							1	3					2	15
ポリオ			1	1													2	4
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群					1												1	2
エコー		1		3	3							1					1	9
エンテロ71																		
その他のエンテロ		11	3	6	8				1			6	1				5	41
単純ヘルペス												1					1	2
水痘・帯状疱疹														1				1
ヘルペス6/7		1			1							4					6	12
EB		3		1													1	5
サイトメガロ			1															1
ムンプス													2					2
麻疹															3			3
風しん																		
パルボB19											3							3
RS		2	10														2	14
ノロ		1		1276													4	1281
ロタ				8														8
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型																		
インフルエンザB型																		
カンピロバクター																		
サルモネラ				1														1
腸管出血性大腸菌				3													24	27
その他の腸管系病原菌																	7	7
溶血性レンサ球菌																		
その他の病原体		5	14	2								2					2	25
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



## <感染症豆知識>

### 性器ヘルペス

単純ヘルペスウイルス(HSV)は表皮の損傷部位から侵入し、4～7日後、初感染部位に数個以内の小水疱をつくる。水疱は破れて有痛性のびらんとなり2～4週で自然治癒する。初感染後に中和抗体が出現し、再感染は生じないが、初感染したウイルスは末梢神経を上行して支配神経細胞に潜伏し、宿主の疲労、ストレスなどの誘因により神経を下行して支配領域である初感染部位周辺に水疱、びらん再発を繰り返す。皮膚病変が存在しない時にもウイルスは初感染部位周辺に排泄されて感染源となり得る。(初感染後3ヵ月間に起こることが多い。)HSVには1型、2型がある(型特異抗原、抗体の検出はすでに保険適用)。1型は口唇周囲など上半身、2型は性器周辺の下半身の感染が多い。性器周辺では、初感染時の症状は1型で強く、再発は2型に多い。1型、2型には交叉免疫が成立し、2型感染者の1型に対する中和能力が1型の2型に対するより強い。戦前の日本など衛生環境の不十分な社会では、小児期ほぼ全員に口唇周囲の1型感染があるが、現在日本の青年の抗体保有率は50%程度に下降し、これに伴い欧米同様、青年期以後の性的接触による性器周辺の初感染が増加した。梅毒同様、妊婦の初感染の場合、新生児感染などの周産期合併症の発症率が高い。アシクロビルは最初に奏効した抗ウイルス薬で皮膚病変の消退を早め、HSVを陰性化できないが再発頻度を減らす。臨床的には初発と再発との区別は困難であるが、サーベイランス届出基準は「明確な再発は除く」とあるので反復罹患者は届出からは除外する。

(文責 東京都南新宿検査・相談室長 小島弘敬)